

鎌倉 海のアカデミア 2018



報告書



ROOT CULTURE

目次

1. コンセプト	2
2. 実施概要	3
3. タイムテーブル	4
4. 会場関連	6
5. プログラム内容	15
6. 制作物	34
7. メディア掲載	36

海とともに生きている、という想像力を育む

太古、私たちは魚でした。人間の耳の骨は、魚の顎の骨から進化したものだといわれています。
今なお私たちのからだは羊水という海で形づくられ、十月十日のあいだ母のおなかの中を漂いながら大きくなります。

海水は汗の味がします。潮風は生き物のおいに満ちています。海がなければ人間はこの地球上にいなかったし、生きていくこともできません。

海は私たちが生まれ、いつか還っていくところ。

そしていつの時代も人々のイマジネーションと創造性を刺激してやまない、豊かな未知の宝庫でもあります。

「海のアカデミア」は鎌倉の漁師町・材木座を舞台に、2日間だけ立ち現れる学び舎。

「あそび」と「まなび」を通じて海と対話し、海と仲良くなる学校です。

会場は浄土宗大本山・光明寺。歴史あるお寺ですが普段から本堂は開放され、日々の散歩から四季の祭りまで、地域の人々の暮らしに溶け込んでいます。終戦間もない1946年には、若き文化人たちが集い学ぶ「鎌倉アカデミア」の校舎ともなりました。

海のアカデミアでは「光明寺」の本堂および境内と、そこから約200メートルの参道でへその緒のように結ばれた「材木座海岸(和賀江嶋)」がキャンパスになります。

そこでは四つの学科「うみであそぶ科」「つくる科」「まなぶ科」「みらい科」が展開され、

芸術家や職人によるさまざまな授業が行われます。

生徒はふたつのキャンパスを自由に行き来しながら、海の実しさや自然のしゅみを学びます。

2日目の午後には、生徒たちが海で発見したこと・表現したものを発表する「海の文化祭」が行われます。

正午から日没までのあいだ、輪になって遊び、食べ、歌い踊るおまつりです。親子でも大人だけでも、誰でも参加できます。

いま世界中で海の危機が露わになっています。開発や乱獲による、生態系の破壊。

プラスチックごみをはじめとする汚染は、食物連鎖を通じて海の生き物から人間へと及びつつあります。

私たちを含め多くの方が、海とともに生きるすべを忘れ、戸惑っているのかもしれない。

でも、思い出してください。私たちは魚の顎で音楽を聴いているのです。

海のアカデミアがさまざまな生き物たち、死者(ご先祖様)たちやこれから生まれてくる子どもたち、

海の向こうの隣人といった「見えないけれどつながっている存在への想像力」と「自分の手づくり出す創造力」を育む場になることを願っています。

その力はきっと、未来を生き抜く知恵になるはずです。

名称 海と日本PROJECT 鎌倉 海のアカデミア 2018

実施概要 2018年夏に鎌倉・由比ヶ浜にて子どものシロナガスクジラが打ち上げられ、その体内から大量のプラスチックゴミが検出された。本事業「海とPROJECT 鎌倉 海のアカデミア」は、いままさに問題となっている「海洋プラスチック汚染」をテーマに、様々なプログラムを企画・実施したが、海の専門家だけでなく、環境活動を行っている団体にも声がけを行い、専門的観点から多くの参加者・来場者に海の環境問題について提起できた。

実施日程 2018年10月27日(土)、28日(日)

実施場所 鎌倉 光明寺[鎌倉市材木座6-17-19]、材木座海岸

来場者数 10月27日(土) 3,800名
10月28日(日) 7,000名

クレジット 主 催:特定非営利活動法人 ルートカルチャー
助 成:公益財団法人日本財団
後 援:鎌倉市／鎌倉市教育委員会／公益社団法人鎌倉市観光協会／鎌倉商工会議所
協 力:イマジン盆踊り部 / 一般社団法人 地球の楽校 / 鎌倉アカデミアを伝える会 /
Chameleon / COBAKABA / ファブラボ鎌倉 / 特定非営利活動法人トージバ
特定非営利活動法人 プラスチックフリージャパン
特別協力:浄土宗大本山 光明寺

鎌倉アカデミアとは

太平洋戦争終結後、戦火を逃れた鎌倉・光明寺にて寺子屋大学「鎌倉アカデミア」が開校しました。
「鎌倉アカデミア」はわずか4年ほどで閉校しましたが、教育への情熱をもった鎌倉の文化人たちと、学びへの強い欲求をもって全国から集った若者たちが出会ったこの伝説的な学校からは、いずみたく(作曲家)鈴木清順(映画監督)山口瞳(小説家)ら多くの文化人を輩出し、その教えや精神は時代を超えて鎌倉の地に脈々と受け継がれています。



鎌倉 光明寺にて

3. タイムテーブル

①10月27日

time	光明寺						材木座海岸	time
	本堂	開山堂	書院	蓮池の間(廊下)		境内		
9:00							オープニング	9:00
9:20							長谷川孝一 ビーチコーミング	9:20
9:30				海の将棋大会	おさかな将棋			9:30
10:00				9:30~9:50 受付		水内貴英 光る子くじらをつくろう!		10:00
10:30				10:00~10:10 開会式			みんなで作る砂浜美術館	10:30
11:00			小助川駒介 鎌倉海の吟行会	10:10~10:15 ルール説明				11:00
11:30				10:20~11:20 1回戦				11:30
12:30	SDGsセッション: イントロダクション			11:40~12:40 準決勝			マーケット	12:30
12:40	SDGsセッション: 海のアカデミアオリジナル 紙芝居			13:30~14:30 準決勝				12:40
13:00	SDGsセッション: スピーチ&デモ			14:50~15:50 決勝		水内貴英 光る子くじらをつくろう!		13:00
13:30				15:50~16:00 表彰、閉会式				13:30
14:00	摩耶無我モーラン& キャン ライブ	SDGsセッション: 座談会&ディスカッション						14:00
14:30								14:30
14:45								14:45
15:00	BOOKWORM 好きな言葉を持ちよ、耳 を傾ける							15:00
15:30								15:30
16:00	鎌倉海の吟行会発表× BOOKWORM							16:00
16:30	SDGsセッション: 成果発表 ×BOOKWORM							16:30
17:00								17:00

②10月28日

Time	本堂	開山堂	光明寺	書院	蓮池の間	境内	材木座海岸	坂ノ下海岸	Time
9:00						マーケット	鎌倉の海から塩を作ろう	テンドー 先住民技術の火おこし	9:00
9:30								地引き朝	9:30
10:00	ちんどん おてんきや ライブ	【鎌倉アカデミアトーク】 自分の目で考える、これか らの教育	seto うろこ模様スタンプで 手ぬぐいづくり	横山寛多 海鳥の水画づくり	Sunohara Sachie 海の神韻の種子づくり	水内真美 赤ちんじらの プローチをつくらう！			10:00
10:15									10:15
10:30									10:30
10:45									10:45
11:00	ロケデム 即興芝居 みんなであつと！ 鎌倉アカデミア附属学校								11:00
11:15								テンドー 先住民技術の火おこし	11:15
11:30									11:30
12:00	MAVA 海の神韻の音楽会 ワークショップ								12:00
12:15									12:15
12:30									12:30
12:45									12:45
13:00									13:00
13:15	レニリーフエンシユアール 『原色の海上上映』								13:15
13:30									13:30
13:45									13:45
13:50	美しい海中の世界 藤原隆十 監製 『原色の海』アフタートーク								13:50
14:00									14:00
14:15									14:15
14:30	ちんどん おてんきや ライブ								14:30
14:45									14:45
15:00	海のアカデミアオリジナル 編笠巻 横田真由 ほか								15:00
15:30	海のハレード								15:30
16:00								塩吹き講り	16:00
16:30									16:30
17:00									17:00

①会場マップ・アクセス



■ 光明寺(鎌倉市材木座6-17-19)

JR横須賀線・鎌倉駅下車

バス7番のりばより小坪經由逗子駅ゆき10分、光明寺前バス停下車徒歩1分

■ 材木座海岸

光明寺より徒歩1分

■ 坂ノ下海岸

光明寺から徒歩15分程度

江の島電鉄線・長谷駅から徒歩4分

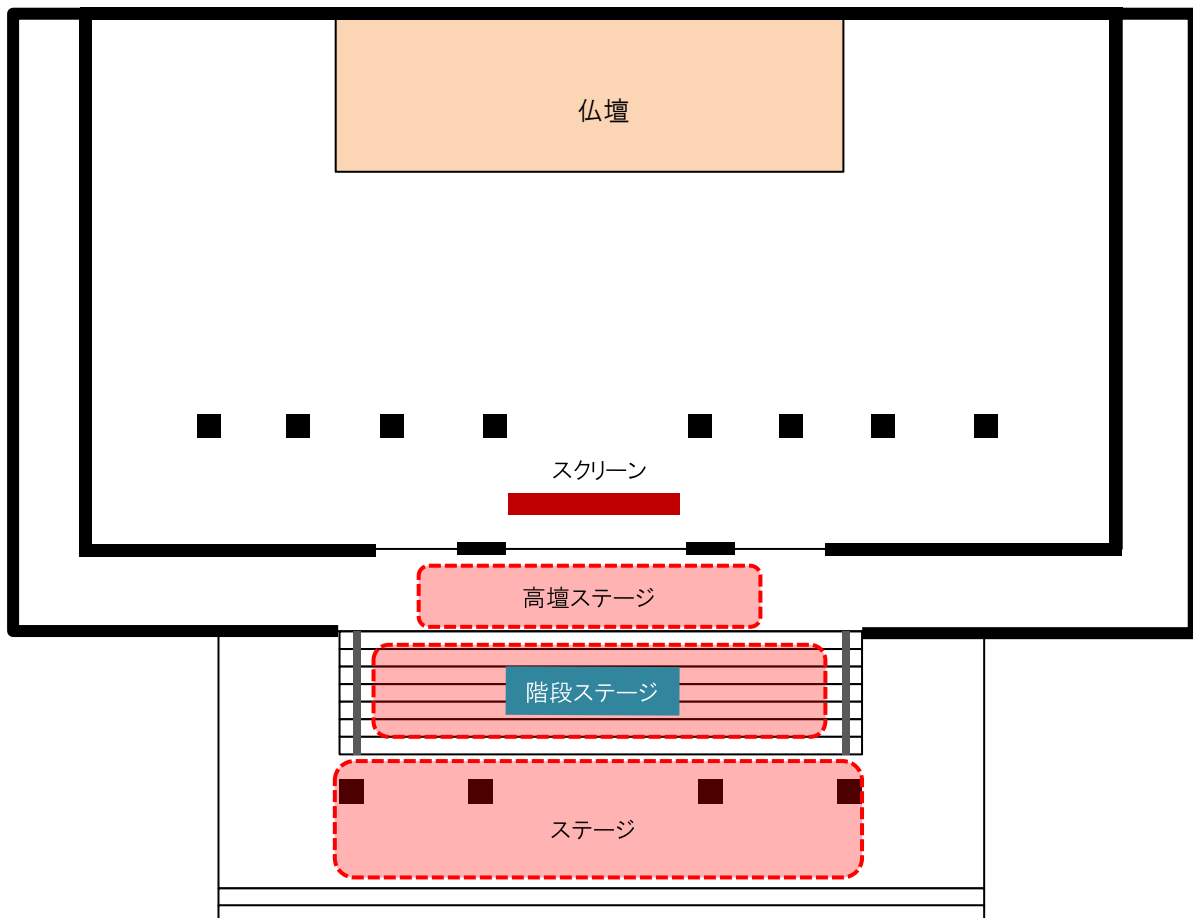
② 光明寺及び材木座海岸



③会場レイアウト

本堂

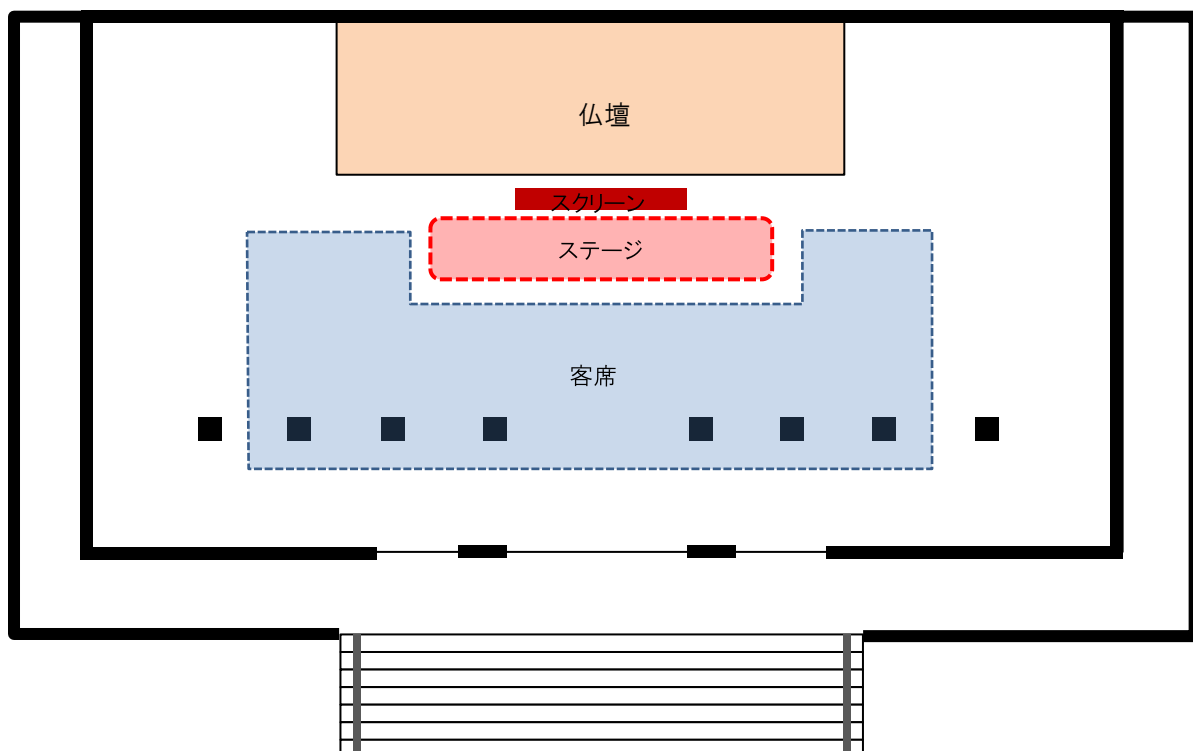
通常時



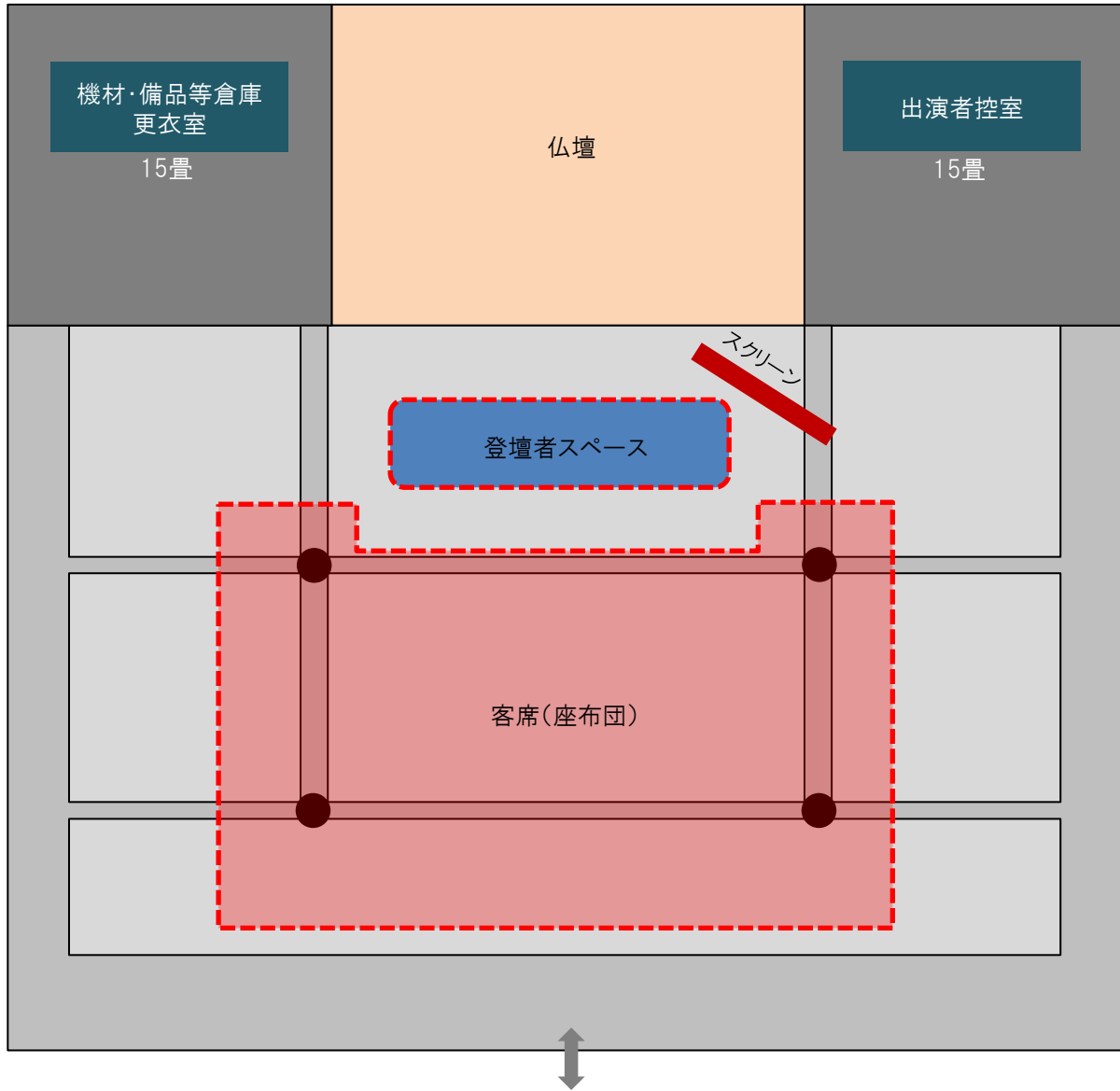
スクリーンは使用するプログラムのみ設置する

本堂

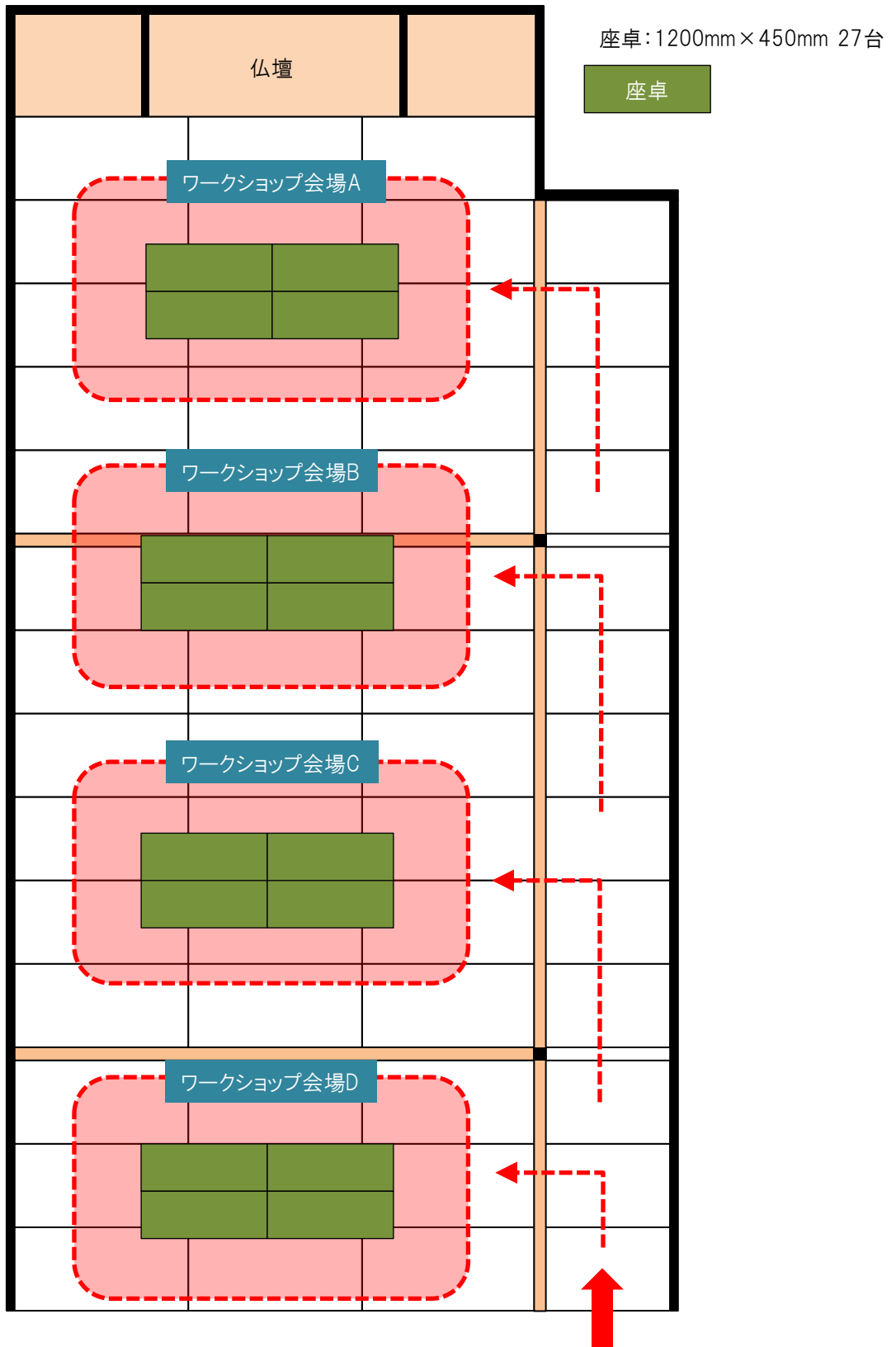
雨天時



開山堂



書院



境内(総門～山門)

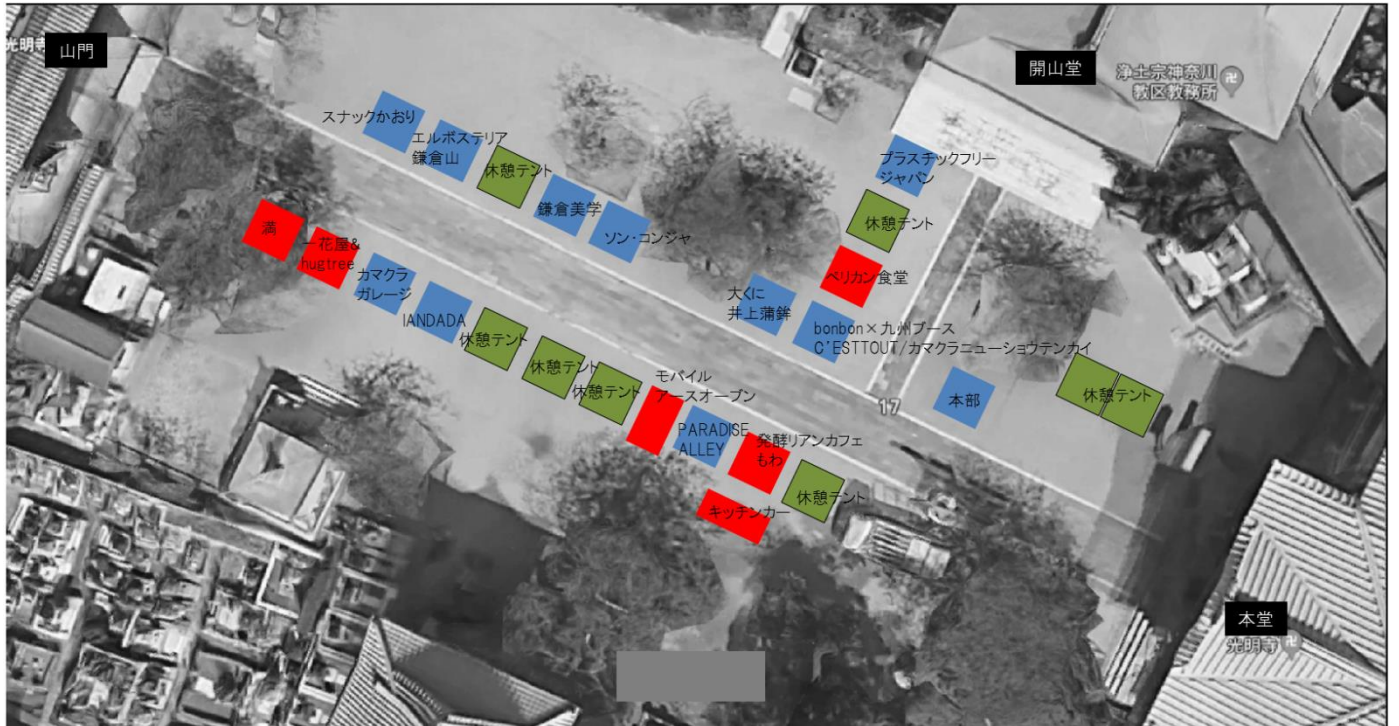
参加者動線／駐車場及び駐輪場



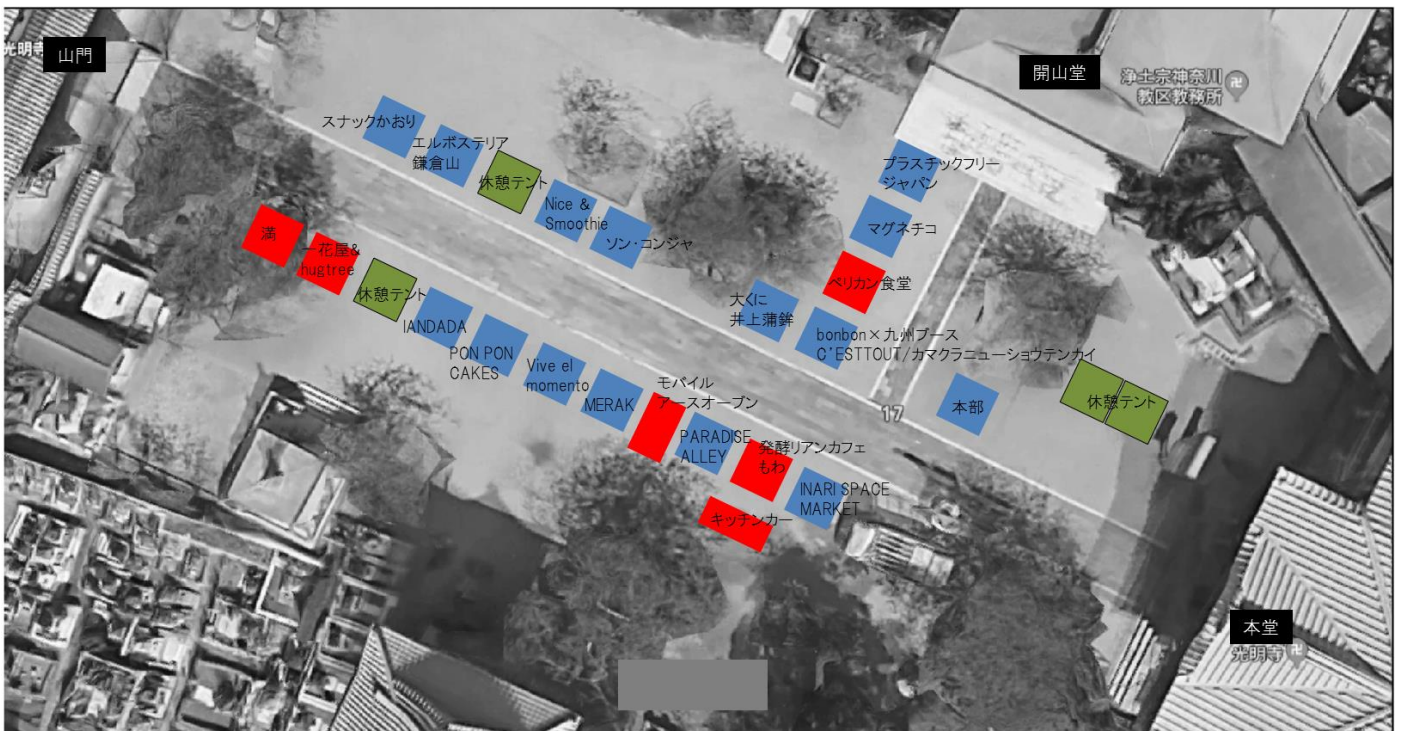
境内(山門～本堂)

展示ブース及びマーケット

10/27



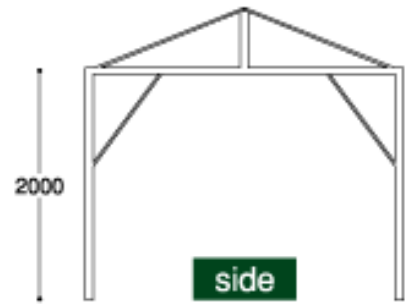
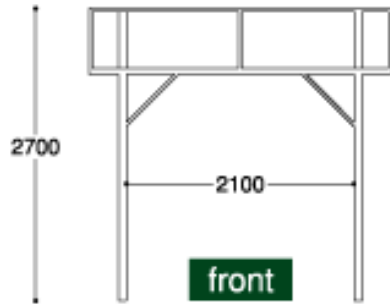
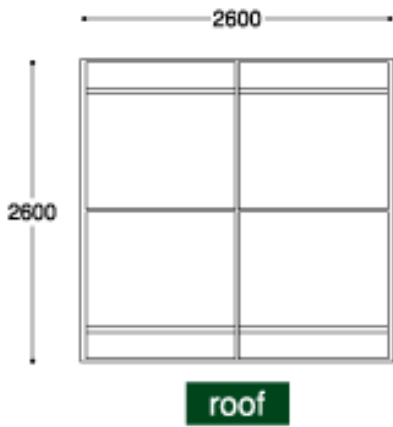
10/28



材木座海岸



④展示及びマーケット概要



①10月27日

海の将棋大会

日時: 10月27日 9:30-16:00
 学科: まなぶ科
 場所: 鎌倉 光明寺 蓮池の間
 参加者: 45名
 おさかな将棋制作: Sunohara Sachie (切り紙作家)

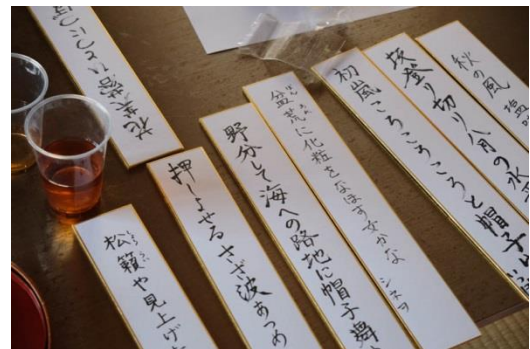


光明寺の蓮池をのぞむ渡り廊下において、こどもからお年寄りまで参加した鎌倉海のアカデミアオリジナル・おさかな将棋大会を開催しました。



鎌倉 海の吟行会 散策しながら俳句を詠もう

日時 10月27日 11時～16時半
 講師: 小助川駒介 / ゲスト参加: 高橋源一郎
 学科: つくる科
 場所: 光明寺本堂前に集合
 参加者: 30名



光明寺や材木座海岸をゆっくりと歩きながら俳句を詠み、歴史ある光明寺で句会を行い、最後には、BOOKWORMの即興音楽とともに優秀作品をステージで発表しました。



光る子じらをつくらう！
～にじみ絵の子じらランタンづくり～

日時: 10月27日 10時～12時 / 13時～15時
講師: 水内貴英
学科: つくる科
場所: 光明寺・総門内
参加者: 50名



水内貴英

美術家。1979年岡山県生まれ。作品が関わる場所や状況に呼応するように、さまざまな手法・素材を用いた作品を国内外で発表している。また、ワークショップによって起こる出来事や立ち現れる空間もまた作品であるという考えのもと、大規模なワークショップも数多く手掛けている。

今年の夏、由比ガ浜に一頭のシロナガスクジラの子どもが打ち上げられました。この出来事から発想を得て、子じらをみんなで作るワークショップ。シンボルオブジェの親じらと同じ手法で作られた子じらに、にじみ絵の手法で色や模様を描き、完成した子じらは親じらと一緒に展示しました。

また、28日15時半からの光明寺～材木座海岸までのパレードには、親じらとともに、子どもたちが子じらを持って参加しました。



SDGsセッション:みんなで考える、
海のプラスチックゴミ問題をどう解決する？

日時: 10月27日 12:30~17:00
学科: まなぶ科
場所: 光明寺
参加者: 200名



【第1部 光明寺本堂前】

12:30~ イントロダクション
紙芝居
(絵:岡本果倫 ドラマトゥルク:石神夏希
朗読:君嶋ルミ子 音楽:BOOKWORM)

13:00~ スピーチ&デモンストレーション
小島政行(プラスチックフリージャパン)
渡辺ゆうか(ファブラボ鎌倉)
テンダー(ダイナミックラボ)
ミライト 神奈川支店

【第2部 光明寺開山堂】

14:00~ 座談会 & ディスカッション (~16:00)
ファシリテーター
長谷川孝一(地球の楽校)
瀬藤康嗣(ルートカルチャー)
鎌倉市職員、他

【第3部 光明寺本堂前】

16:30~ 第2部トークセッションの議論内容の発表

プラスチックフリージャパン

私たちのまわりには、レジ袋、PETボトル、プラスチックストロー・コーヒーカップなど、使い捨てのプラスチックが多くあふれています。これらは、単なる散らかりにとどまらず、有毒な化学物質が溶け出すものもあり、私たちと次世代の子供たちの健康を損ない、人体への悪影響、生態系の破壊につながると懸念されています。私たちは、プラスチックの使用についてもう一度考え直すこと、プラスチック汚染のない活動を全国に展開していきます

渡辺ゆうか(ファブラボ鎌倉代表)

慶応義塾大学環境情報学部非常勤講師。多摩美術大学環境デザイン学科卒業後、都市計画、デザイン事務所を経て2011年ファブラボ鎌倉を設立。

長谷川孝一

ネイチャーガイド、エデュケーショナルデザイナー、エコツーリズムコーディネーターとして活動。一般社団法人地球の楽校代表理事・海の子森の子クラブ校長。

テンダー(社会派ヒッピー)

年間家賃1万円の家を借り、水・ガス・電気契約ナシの「て一庵」に暮らす。版元を作り出版した「わがや電力~12歳からとりかかろ 太陽光発電の入門書」は直販にて8200部を売上げ。先住民技術、NVCとシステム思考を使い、再生する文明を研究中。鹿児島島の廃校にてダイナミックラボをスタート、運営中。<http://sonohen.life>

瀬藤康嗣(ROOT CULTURE)

日頃からサーフィンや釣りで海と接することが多く、海の問題に関心があります。小学生の父親として、また仕事である大学教員として教育に携わっていて、かつての「鎌倉アカデミア」の理念に強く惹かれています。NPO法人ルートカルチャー理事長。フェリス女学院大学音楽学部准教授。

プラスチックゴミが増え続けるなか、海の問題をどう守るのか。この問題は、近年大きく取り上げられることが多くなりました。今年の「鎌倉 海のアカデミア」では、『海のプラゴミ問題をどのように解決していくか』をテーマにトークセッションを行いました。これからプラスチックゴミを出さないように暮らすことはできるのか？出てしまったプラスチックゴミをどうするのか？イントロダクションとして、「海のプラスチックゴミ」をテーマにして制作した「紙芝居」をミュージシャンや俳優などで発表。その後、第1部は、プレゼンターによる最新の技術を用いた解決法の紹介や暮らし方の提案、意見を交換するトークセッションを実施。第2部では専門家や鎌倉市職員、一般参加者も参加するディスカッションを行いました。国連サミットで採択され、日本でも取り組みが進む「SDGs(持続可能な開発目標)」にもスポットを当てながら、私たちの“作る責任・使う責任”を考え、海の問題を守るために何ができるのか一緒に議論しました。最後に、議論した内容を本堂ステージで発表し、継続的に議論を行うことで本セッションは終了しました。



「鎌倉 海のアカデミア」オリジナル紙芝居

日程: 10月27日、10月28日
 学科: まなぶ科
 場所: 光明寺、坂ノ下海岸
 参加者: 27日: 500名 / 28日9時: 200名 / 28日15時: 600名

10月27日 12時半～ 光明寺本堂前(1部+2部)
 朗読: 君嶋ルミ子 音楽: BOOKWORM

10月28日 9時～ 坂ノ下海岸
 (1部のみ。地引網のオープニングとして)
 朗読: 井上幸太郎 音楽: MAYA ダンサー: フーリア・ナターシャ

10月28日 15時～ 光明寺本堂前(1部+2部+3部)
 朗読: 鶴田真由 音楽: MAYA ダンサー: フーリア・ナターシャ



鎌倉のオールスターで作る「鎌倉 海のアカデミア」のコンセプトを伝えるオリジナルの紙芝居！鎌倉にゆかりのあるアーティストたちが絵を描き、物語を紡ぎ、朗読し、音楽を奏で、踊りました。



摩耶無我モーラン & キシャン ライブ

日時: 10月27日 14時～14時45分
 場所: 光明寺本堂前
 参加者: 200名



摩耶無我モーラン

神戸生まれ、大分・ロンドン育ち。イギリスの作曲家、E.J.Moeranを大叔父にもつ音楽家系に生まれる。クラシックピアノを基礎に、電子楽器を織り交ぜ、幼少期の世界各国滞在経験を活かし自ら作曲、演奏する。

演奏楽器はピアノ、チェンバロ、ハルモニウム、琴、タブラ、笛など。作曲作品はショー(HERMES・BENETTONなど)、TV(NHK「シルクロード」「ヨルタモリ」など)、映画音楽(松本人志監督「大日本人」など)、CM多数に提供されており、制作活動を通し数多くのミュージシャンとも共演している。

今夏、日本代表するヘアサロンBEAUTRIUMのパシフィック横浜でのヘアショーで、長女キシャン(10歳)をボーカルに迎えた演奏を行い大きな反響を呼んだ。今回も愛娘との親子共演で、古今東西の音楽を独自のセンスでミックスしたライブを披露した。



好きな言葉を持ち寄り、耳を傾ける
言葉をめぐるイベント

日時 :27日15時～16時
出演者:BOOKWORM
場所:光明寺本堂
参加者:300名



BOOKWORM

たとえば音楽なら自分で演奏したり、誰かが選曲した音を聴いたり、移動中の車の中だったり、個人でも、複数でも楽しむことができます。でも言葉はどうだろう？そして、ミハエル・エンデのインタビュー集の中の「人は自分の好きな物について語る時、とても上手く語る事が出来る。」という一説との出会いが、その人にとって、愛着のある短い言葉を持ち寄って、シェアするというフリースタイルのリーディングイベント、BOOKWORMのアイデアを生ませました。BOOKWORMは、1997年に始まって、今年で21年になる、好きな言葉を持ち寄ってシェアする、言葉のイベントです。

<http://book-worm.info/>

BOOKWORMメンバー

山崎円城(G)F.I.B JOURNAL / 岡本学志(G) Little Woody(Wb) / ケンネル青木(Steel Pan) / 沼直也(Dr)F.I.B JOURNAL

山崎円城(音楽家・詩人)

90年代はNoise on TrashでVo+Gを担当し、数々の作品を発表する。2003年よりF.I.B JOURNALを開始。計5枚のフルアルバムを発表している。ジャズパンクと称されている。2013年、2016年に等価交換で二冊の詩集をリリース。2014年、DOARAT、MARUA等から、詩のタギングした服・アクセサリーを発表。タギングの壁面なども数多く制作している。1998年から続く、言葉のイベントBOOKWORMを主催。20周年を迎えた今年も、全国各地で開催されている。

詩や歌詞の一節、誰かのエッセイやツイート、小説。日常中にはさまざまな言葉が溢れています。その中から、「好きな言葉」を持ちよって話し、耳を傾ける会BOOKWORM。このイベントは、ミハエルエンデのインタビュー集の「人は自分の好きな物について語る時、とても上手く語る事が出来る」という一説と出会ったことから生まれたといえます。とても好きだという思いを込めて発せられる言葉は、耳を傾ける人にとっても身近な言葉としてここに残るかもしれません。即興で演奏される音楽をバックに、言葉に耳を傾け合いましょう。



②10月28日

鎌倉の漁師さんと地引き網

日時 :28日9時～11時半
 講師:長四郎網のみなさん
 講師:長谷川孝一
 場所:坂の下海岸
 協力:企画制作団体chameleon
 参加者:200名



講師:長四郎網のみなさん
 江戸時代から続く鎌倉の網元、「長四郎網」。10年間途絶えていた地引き網を復活させ、現代にその技術を受け継ぐ。



講師:長谷川孝一
 ネイチャーガイド、エデュケーショナルデザイナー、エコツーリズムコーディネーターとして活動。一般社団法人地球の楽校代表理事・海の子森の子クラブ校長。

大きな網を海に広げ、多人数で網を引き寄せて魚を獲る昔ながらの漁法、地引き網。江戸時代から続く網元「長四郎網」の漁師さんと一緒に体験。専門家による、魚の生態や海の環境についての解説付き。とれた魚は参加者がすべて持ち帰りました。



鎌倉の海から塩をつくり、みんなで踊ろう
塩炊き&塩炊き踊り

○塩炊き
日時：28日9時～16時
学科：うみあそび科
いっしょに塩を炊くひと：瀬能笛里子
場所：材木座海岸
参加者：100名

○塩炊き踊り
日時：28日16時～17時
出演：イマジン盆踊り部
学科：うみあそび科
場所：材木座海岸
参加者：300名



イマジン盆踊り部

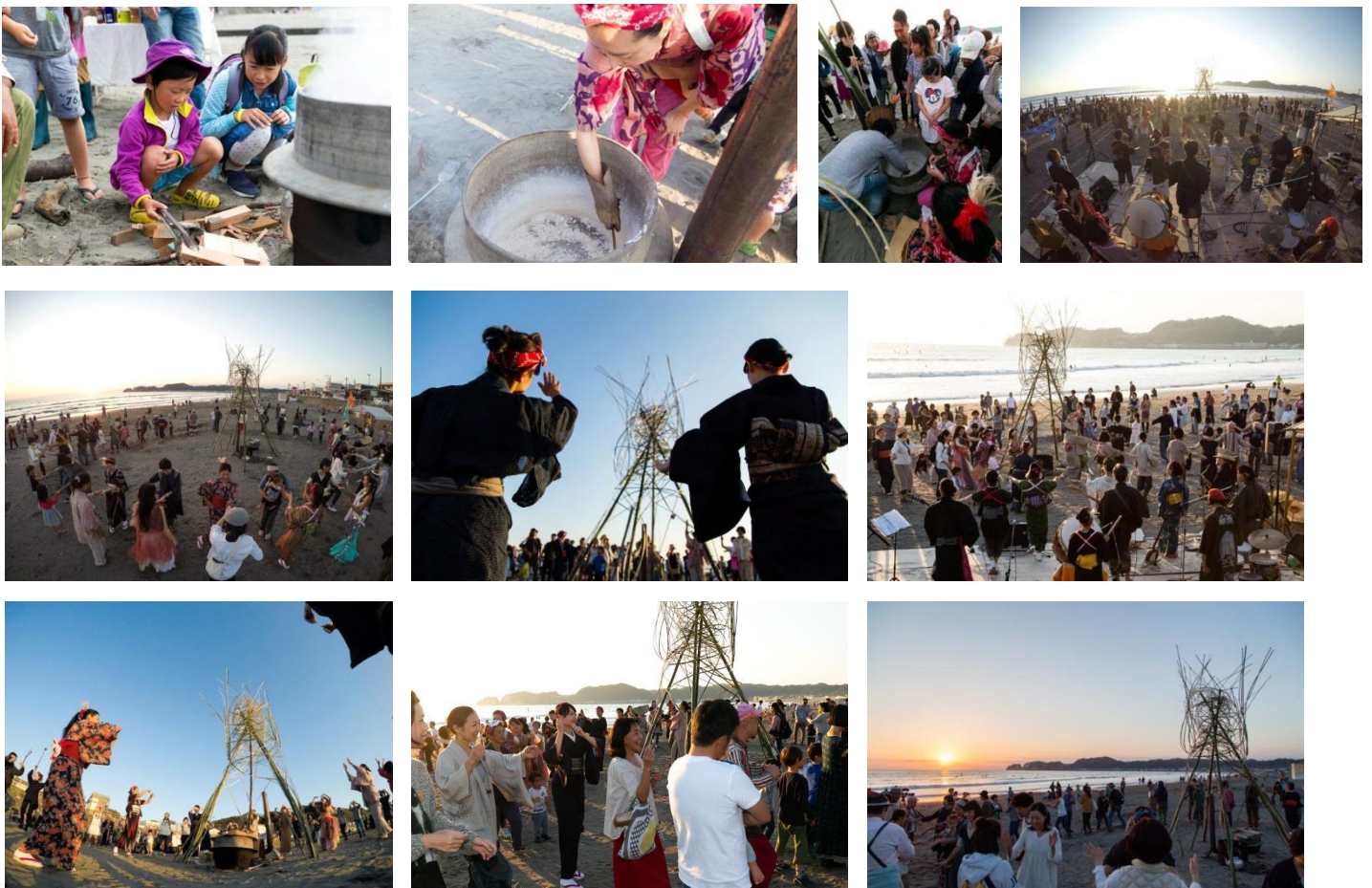
「踊りで平和の輪を描きたい」という想いから、鎌倉で結成。髪結い師、デザイナー、主婦、看護師など、多種多様なメンバーが盆踊りの輪を盛り上げる。

<http://www.imaginebonbu.com/>

私たちの命になくてはならない塩。体をつくったり、おいしく味わったりするのはもちろん、食べ物が朽ちるのを防ぐために用いたり、塩をまいて場を清めるなど、古くから私たちの日々の暮らしに欠かせないものとして大切にされてきました。海の恵みである塩をつくる「塩炊き」を材木座海岸で行いました。

28日の朝、鎌倉の海から汲み上げた水を炊き始め、夕方できあがった塩をみんなで味わいました。

また、塩ができたお祝いにイマジン盆踊り部と一緒に「塩炊き踊り」を踊り、本事業のフィナーレを飾りました。



無人島での生活
先住民技術の火おこし&チャコールディギング

日時:
火おこし:28日 9:00~ / 11:00~
チャコールディギング:28日 13:00~
講師:テンダー
学科:うみあそび科
場所:材木座海岸
参加者:
海の火起こし:40名
無人島での生活 チャコールディギング:20名



テンダー
社会派ヒッピー。年間家賃1万円の家を借り、水・ガス・電気契約ナシの「て一庵」に暮らす。版元を作り出版した「わがや電力〜12歳からとりかかる 太陽光発電の入門書」は直販にて8200部を売上げ。先住民技術、NVCとシステム思考を使い、再生する文明を研究中。鹿児島島の廃校にてダイナミックラボをスタート、運営中。
<http://sonohen.life>

テンダー指導による火起こしを行い、起こした火で塩炊きを開始。
その後、無人島でも生活できるよう北米先住民技術の一つ「チャコールディギング」でスプーンづくりを行いました。



自分の頭で考える、これからの教育

日時:28日 10:00~12:00

ファシリテーター:

平田恵美(鎌倉市中央図書館近代史資料室)

増谷文良(鎌倉市川喜多映画記念館総括責任者)

瀬藤康嗣(ルートカルチャー理事長)

学科:まなぶ科

場所:光明寺 開山堂前 鎌倉アカデミア記念碑前に集合後、
開山堂へ移動

参加者:200名



平田恵美

鎌倉市中央図書館近代史資料室嘱託職員

図書館の仕事について1991年の最初の仕事、「鎌倉アカデミア資料展」でした。昭和21年(1946)戦後の真空状態の中で新しい生き方を模索した当時の若い人達もすでに60代になっていましたが、時の流れをくぐってきたたくさんの卒業生にお会いすることができました。「私たちは大事にされていた」という発言は、温かい師弟関係のようなものを感じました。「ここに来れば何か問題が解決する」という場所が、光明寺で生まれた鎌倉大学(のちの鎌倉アカデミア)にはあったようです。時代の空気は、それぞれ違いますが、同じことはできなくても、何か共通点を感じることができれば良いのではないかと思います。

瀬藤康嗣

ROOT CULTURE

日頃からサーフィンや釣りで海と接することが多く、海の環境問題にも関心があります。小学生の父親として、また仕事である大学教員として教育に携わっていて、かつての「鎌倉アカデミア」の理念に強く惹かれています。NPO法人ルートカルチャー理事長。フェリス女学院大学音楽学部准教授。

増谷文良

鎌倉市川喜多映画記念館総括責任者

「鎌倉アカデミア」は終戦まもない1946年に、鎌倉の文化人を中心に光明寺で開かれた伝説的な教育機関。「楽しい学園」「自分の頭で考える人間づくり」を理念として多くの人材を輩出しました。そんな「鎌倉アカデミア」をヒントに、偏差値ではなく自己決定の重要性が問われる現代教育において、自分の頭で考える”学び”や”社会”について考えます！



うろこ模様スタンプで手ぬぐいをデザインしよう！
オリジナル手ぬぐいづくり

日時：28日 10時～12時／13時～15時(随時)
学科：つくる科
場所：光明寺書院
参加者：60名



講師：seto

瀬戸けいた・瀬戸なおよによるデザインレーベル。自然や生き物をモチーフとした、デザインやアートワークを制作しています。物を自然や生き物に見立て、シンプルに削ぎ落とされてはいるが、どこか温かみがあるデザイン。それがsetoの特徴です。海と山に囲まれた街、鎌倉で自然を観察しながら創作活動をしています。鎌倉駅近くに小さなアトリエショップがあります。

魚のうろこをじっくり観察すると、その美しさにはっとさせられます。

古来日本人は、うろこの幾何学的美しさを「三角」で表現してきました。着物などに使われた「うろこ紋」、海の町、鎌倉や江ノ島に由来を持つという北条家の「三つ鱗」。どちらも「三角」で、魚や海の事象がうまく表現されています。

この「うろこ＝三角」という伝統的な紋様表現に着目し、大小2つの正三角形のスタンプを使ってオリジナルの手ぬぐいをつくる「うろこ模様」ワークショップを行います。三角のスタンプを自由に組み合わせ、法則性とパターンを決めて、新しい「うろこ模様」をデザイン。たった2つの三角の組み合わせで、驚くほど多様な「うろこ模様」を生み出すことができました。



赤ちゃんくじらのブローチをつくろう！
～廃レザーで作るあかちゃんくじらブローチ～

日時: 10月28日 10時～12時 / 13時～15時
場所: 光明寺 総門内
講師: 水内貴英
学科: つくる科
参加者: 100名



水内貴英

美術家。1979年岡山県生まれ。作品に関わる場所や状況に呼应するように、さまざまな手法・素材を用いた作品を国内外で発表している。また、ワークショップによって起こる出来事や立ち現れる空間もまた作品であるという考えのもと、大規模なワークショップも数多く手掛けている。

廃棄される革を使って、ちいさな赤ちゃんくじらのブローチを作りました。
また、28日15時半から本堂から海岸までのパレードに赤ちゃんくじらブローチをつけて一緒に参加しました。



海の仲間の帽子づくり
紙工作で遊ぼう

日時:28日 10:00~15:30

①10:00~ (イカ)

②10:45~ (サメ)

③11:30~ (ペンギン)

学科:つくる科

場所:光明寺書院

参加者:100名

④13:00~ (エビ)

⑤13:45~ (カニ)

⑥14:30~ (クジラ)



講師: Sunohara Sachie(切り紙作家)
子育てをきっかけに、切り紙をはじめ。
ハサミと折り紙を使って、作品を発表。
2015年 個展 切り紙展
2016年 個展 素敵な手
ショップ看板、ウエルカムボードなどをデザイン。
大人のための切り紙教室では、折り紙ポチ袋を指導中。

イカやエビ、さまざまな魚たち。海の中にはたくさんの生き物が住んでいます。そんな海の仲間たちの帽子を、Sunohara Sachieさんと一緒に制作。「イカには何本足があるかな?」「エビのひげってどんな感じ?」そんな話をしながら、一枚の色画用紙とハサミを用いて立体的な帽子をつくりました。



海鳥の水笛づくり

日時:28日 10時～12時／13時～15時
 講師:横山寛多
 学科:つくる科
 場所:光明寺 書院
 参加者:60名



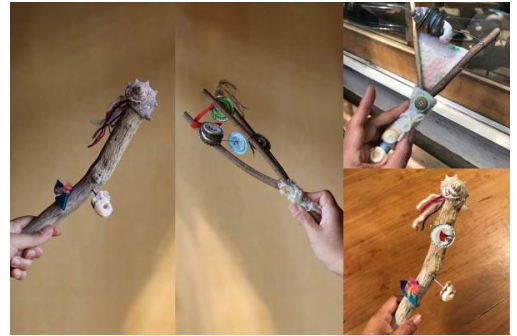
講師:横山寛多
 絵描き
 1980年鎌倉市生まれ。魚座のA型。絵描き。多摩美術大学油画科卒。忍者ユニット「ケムリとホコリ」のホコリ。節足動物(虫やカニ)が好き。海と砂がNG。
 絵日記的なInstagram: [@kemuritohokori](https://www.instagram.com/kemuritohokori)

「イソヒヨドリ」という海鳥の鳴き声のような音がする、水笛。鎌倉生まれの絵描き・横山多さんと一緒に、水の量、ストローの長さ、吹き方などを工夫して、それぞれが気に入る音色の笛を作り、みんなで一斉に笛を吹くと、まるで浜辺に集まる鳥の群れに出合ったかかのような迫力でした。



“しぜん”と“まち”からつくる楽器「シャランぽん」をつくろう！
オリジナル楽器づくり&パレード

日時：28日 10時30分～／13時～
講師：さとうゆみ
学科：つくる科
場所：光明寺境内テント
参加者：30名



講師：さとうゆみ(ちんどん おてんきや)
主に「こども」をテーマに、国内外を“隙あらば旅”するフィールドワーカー。レゾ・エミリアやポートランド、ベルリン等、多くの都市の教育機関や施設・公園・プロジェクト等を体験視察。大小さまざまな学びの場やイベント、ワークショップなどの企画・ファシリテーションを行う。「ちんどん おてんきや」としても活動し、こどももおとなも一緒になって町を練り歩くパレード型ワークショップでは、音楽の楽しさと、場に伝播させるワクワクを伝えている。
<http://cotoconton.com>

しぜんいっぱい鎌倉の海で拾い集めた木の枝や貝殻を組み合わせて、シャラシャラぽんぽん、ゆかいな音を奏でる楽器をつくりました。まず、海岸にお気に入りの素材を見つけに出かけることから始め、楽器ができあがったら、ちんどんおてんきやと一緒にパレードを行いました。



ちんどん おてんきや 演奏&ミニパレード

日時：2018年10月28日(日)
①10時～ ②11時45分～ ③14時30分～
講師：ちんどんおてんきや
場所：光明寺、材木座海岸
参加者：30名



ちんどん おてんきや
どっぴり演歌からどこか異国の歌まで、ずらずいといつとちんどんどん。そのとき、その場、おてんき次第でかたちを変える、自由で愉快なちんどん屋。今回のメンバーは、ちんどん屋歴15年以上のさとうゆみ(ちんどん太鼓)、岡田カーヤ(サクソ)、mica bando (アコーディオン)、小林武文(パーカッション)。まちとひとをがっちりつなぐパレードをお届けします。
さあ、みなさんも一緒に！<http://cotoconton.com/chingdong-oteniya/>



みんなでつくる！鎌倉アカデミア即興学校
「海へと続く秘密の通路」
即興芝居・即興パフォーマンス

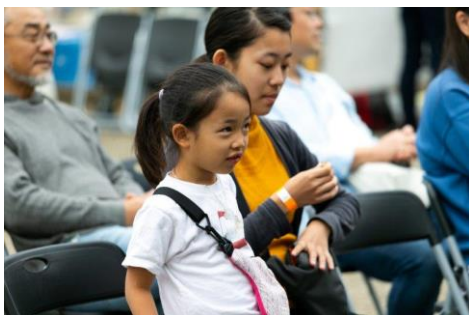
日時:28日 11時～12時／14時～15時
講師:ロクディム
学科:つくる科
場所:光明寺 本堂、材木座海岸
参加者:50名(即興芝居参加者) ＊来場者500名程度



講師:ロクディム
「この瞬間を一緒に笑おう」を合言葉に「即興芝居×即興コメディ」をする即興パフォーマンス集団。決まった脚本や台本・あらすじ等がなく、その場で「芝居」をしながら「物語」をつくる即興パフォーマンスを行う。

戦後間もない昭和21年5月に開校、財政難で惜しくも廃校したと思われていた鎌倉アカデミアは、実は今も続いていた!?
開校したばかりの頃、仮校舎となっていた材木座光明寺。このお寺に隠された秘密の扉を開き、海へと続く通路を進むと、そこには……!?

この先の物語をつくるのは皆さんです！会場にいる皆さんの声やアイデアを取り入れながら、即興芝居・即興コメディパフォーマンスを中心に活動する「ロクディム」とともに、お話を進めていきます。さて、どんな物語が生まれるのか、一緒に楽しみましょう。



海の仲間の音楽会・ワークショップ

日時:28日 12時~13時
 場所:光明寺本堂前
 参加者:10名



摩耶無我モーラン

神戸生まれ、大分・ロンドン育ち。イギリスの作曲家、E.J.Moeranを大叔父にもつ音楽家系に生まれる。クラシックピアノを基礎に、電子楽器を織り交ぜ、幼少期の世界各国滞在経験を活かし自ら作曲、演奏する。

演奏楽器はピアノ、チェンバロ、ハルモニウム、琴、タブラ、笛など。作曲作品はショー(HERMES・BENETTONなど)、TV(NHK「シルクロード」「ヨルタモリ」など)、映画音楽(松本人志監督「大日本人」など)、CM多数に提供されており、制作活動を通し数多くのミュージシャンとも共演している。

今夏、日本代表するヘアサロンBEAUTRIUMのバシフィコ横浜でのヘアショーで、長女キシャン(10歳)をボーカルに迎えた演奏を行い大きな反響を呼んだ。今回も愛娘との親子共演で、古今東西の音楽を独自のセンスでミックスしたライブを披露する。

アジアビューティーエキスポでの演奏風景:<https://www.instagram.com/p/BkbYWckA27Z/> by BEAUTRIUM Daisuke Masuyama

つくる科のワークショップで作った「海鳥の水笛」「シャランぽん」「うろこ模様の手ぬぐい」「海の仲間の帽子」を持ち寄って、パーカッションでつくる波の音を加えてみんなで音楽をつくり、お披露目としてパレードに参加しました。



海のプラスチックで創る ゆらゆらモビール

日時:28日 12時~ 13時~ 14時~
 講師:オダジュンコ
 学科:つくる科
 場所:光明寺 開山堂
 参加者:24名



講師:オダジュンコ ほか
 ビーチコーミングで拾ったゴミに、新たな生命をふきこむことで、海が抱えるプラスチック問題と向き合うワークショップ「AWAPIECe」を展開中。

海岸を歩いてよく見ると、大きささまざまなプラスチックのカケラが落ちていることに気がきます。貝殻や石と違ってカラフルなプラスチックが、どうして砂浜にあるのでしょうか?そんなことを考えながら 海のプラスチックのカケラを使って、ゆらゆら揺れるモビールを楽しく作りました。



レニ・リーフェンシュタール
ワンダー・アンダー・ウォーター 原色の海
100歳の女性監督による「海中ドキュメンタリー」

日時:28日13時～13時45分
学科:まなぶ科
場所:光明寺本堂
参加者:400名



監督:レニ・リーフェンシュタール(1902-2003)

ドイツの女性映画監督、写真家、元女優。世界最年長のスクーバダイバーでもあった。リーフェンシュタールを高く評価したヒトラー直々の依頼により『信念の勝利』『意志の勝利』を撮影。さらにナチス・ドイツ政権下で開催されたベルリンオリンピックの記録映画『オリンピア』を撮影し、国際的な名声を得た。ナチス党員になることはなかったがナチズムに協力した映画監督として、生涯にわたって非難を浴び続けることになる。戦後の長い沈黙を経て、旅行先のスーダンで10年間かけてヌバ族を撮影した写真集『ヌバ』を1973年に出版。同年71歳で年齢を若く偽ってスキューバダイビングのライセンスを取得。ダイビングで出会った海の生物たちを紹介する映画『原色の海』を100歳となる2002年に発表し、翌年101歳で永眠した。

70歳でダイバーの免許を取得し、2000回にも及ぶダイブで収めた膨大な映像をもとに、100歳のときに発表した映像作品です。海中に生息する見たことのないような色鮮やかな海の生き物たちに、子どもはもちろん、大人も興味を持っていました。



美しき海中の世界:栗林隆+五十嵐大介による
『原色の海』アフタートーク

日時:28日 13:45～14:15
場所:光明寺本堂
トーク:栗林隆、五十嵐大介



栗林隆:アーティスト
現代美術作家、にわし。1968年生まれ、長崎県出身。武蔵野美術大学卒、ドイツ・クンストアカデミーデュッセルドルフ修了(マイスターシューラー取得)。2006年シンガポール・ビエンナーレ、10年森美術館「ネイチャー・センス」展に参加、12年十和田市現代美術館で個展開催、17年北アルプス国際芸術祭参加。パリで開催されたジャポニスム2018の「Enfance/子ども時代」展で新作「ENTRANCES」を発表。現在朝日新聞GLOBEで連載中。



栗林隆:アーティスト
五十嵐大介:漫画家
1993年に『月刊アフタヌーン』にてデビュー。高い画力と繊細な描写で自然世界を描く。2004年、『魔女』により文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を、2009年、『海獣の子供』により第38回日本漫画家協会賞優秀賞、第13回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞。

リーフェンシュタールの『ワンダー・アンダー・ウォーター 原色の海』アフタートークには異色の顔あわせながら、海と深い関わりをもつアーティスト・栗林隆と漫画家・五十嵐大介が登場します。リーフェンシュタールの作品を切り口に、海から得るインスピレーションや、海の環境問題について語りました。



3Dペンをつかって、空中のお絵かき

日時:28日 12:30~15:00
 講師:ファブラボ鎌倉
 学科:みらい科
 場所:光明寺 開山堂
 参加者:30名



講師:渡辺ゆうか
 ファブラボ鎌倉代表、慶応義塾大学環境情報学部非常勤講師。多摩美術大学環境デザイン学科卒業後、都市計画、デザイン事務所を経て2011年ファブラボ鎌倉を設立。

「ファブラボ」は、3Dプリンタやレーザーカッターなどデジタル工作機械を備え、市民が発明を起こすための地域に根ざした実験工房です。今回は、土に還る生分解プラスチックを原料に空中で描いたものがかたちになる3Dペンや、海のプラスチックごみを再利用した3Dプリンタを体験しました。



グランドフィナーレ！パレードをしよう！

日時：2018年10月28日(日)15時半～16時
 場所：光明寺・本堂から材木座海岸までパレード
 参加者：500名



親クジラもパレードに参加

光明寺のプログラムのグランドフィナーレとして、2日間で作った楽器やオブジェなどとともに、光明寺から材木座海岸までの道を賑やかに練り歩く、パレードを行いました。
 材木座海岸到着後、そのまま塩炊き踊りに参加しました。



メディア名	カテゴリ	カテゴリ 2	掲載に関する詳細
朝日新聞	新聞	神奈川版	10月26日朝刊
湘南スタイル	雑誌	湘南のライフスタイルマガジン	9/26発売号にて告知、12/26発売号にてレポート
湘南タイム	雑誌	湘南のライフスタイルマガジン	10/28発売号にて紹介
FM横浜	ラジオ	神奈川ローカルメディア	10月21日19時～ SHONAN by the Sea
FM戸塚	ラジオ	神奈川ローカルメディア	10月18日20時～ INARI アースリングフレンズ
湘南ピーチFM	ラジオ	神奈川ローカルメディア	10月14日16時～ Shonan Breeze
テレビ神奈川	テレビ	神奈川ローカルメディア	10月28日TVKニュース
キッズイベント	WEB	親子向けおでかけ情報メディア	http://www.kids-event.jp/event/10837/
雛形	WEB	全国のローカルニュースを取り扱うメディア	https://www.hinagata-mag.com/27108
colocal	WEB	全国のローカルニュースを取り扱うメディア	https://colocal.jp/topics/think-japan/kamakura/20181022_118499.html
マグカル	WEB	神奈川ローカル カルチャーニュース	https://magcul.net/118890
ミレア	WEB	神奈川ローカル カルチャーニュース	http://mirea-web.jp/118890
BRISA	WEB	神奈川ローカルメディア	http://brisa.jp/topics/p901/
海と日本プロジェクト in かながわ	WEB	海と日本プロジェクトページ	https://kanagawa.uminohi.jp/report/海を感じよう%ef%bc%81「鎌倉%e3%80%80海のアカデミア」/

掲載例

『朝日新聞』10月16日朝刊（神奈川版）



- ・朝日新聞の購読者層を意識し「学び」を前面に押し出した記事。
- ・今年力を入れていたSDGsプログラムについても紹介いただいた。

紹介例

『テレビ神奈川』10月28日放映「TVKニュース」



- ・会場となった坂ノ下海岸と、光明寺、2会場の様子取材いただき、約1分半放送いただきました。
- ・プラスチックフリーの取り組みにも言及。

掲載例

『湘南スタイル』11月号「湘南エリア別忘備録」



- ・湘南に暮らす人だけでなく、湘南のライフスタイルに興味がある層へのアプローチ
- ・2月号（12月26日発売）ではイベントレポートの掲載も予定



チラシ

B5 2,500枚/厚さ



表

裏

会場マップ・タイムテーブル

A0サイズ [会場内1か所掲出]

	光明寺				境内	材木厓海岸			坂ノ下海岸	
	本堂	開山堂	書院	蓮池の間(廊下)		マーケット	海鳥の水笛づくり / みんなでうたい	先住長住僧の講話	鎌倉の海神さん / かなき様	先住長住僧の講話
9:00										
9:30										
10:00										
10:15										
10:30										
10:45										
11:00										
11:15										
11:30										
12:00										
12:15										
12:30										
12:50										
13:00										
13:15										
13:30										
13:45										
13:50										
14:00										
14:15										
14:30										
14:45										
14:50										
15:00										
15:30										
16:00										
16:30										
17:00										

会場MAP

マーケット

光明寺

〈販売〉POMPON CAKES / 森上製菓 / PARADE ALLEY / 大仏 / 湯 / マダモト / 金野アタカ / ノーノス / hugobon / エビス / スプア製菓 / バンカ堂 / Nice & Smoothie / フォンション / カワラ / コーヒー / ほか

〈他店〉カオパコミュニケーション / habonix 九州 / ブース / イナダダ / INARI SPACE MARKET / CESTTOUT / kao shop / MERAK / VIVE el momento ほか

海と日本PROJECT 鎌倉 海のアカデミア

市内には数箇所ある文化祭(本堂)を含む各々の文化祭がございます。マップを当てあわせて見るとよくお分かりいただけます。

・市内には数箇所ある文化祭(本堂)を含む各々の文化祭がございます。マップを当てあわせて見るとよくお分かりいただけます。

・市内には数箇所ある文化祭(本堂)を含む各々の文化祭がございます。マップを当てあわせて見るとよくお分かりいただけます。

鎌倉 海のアカデミア

メディア名	カテゴリ	カテゴリ 2	掲載に関する詳細
朝日新聞	新聞	神奈川版	10月26日朝刊
湘南スタイル	雑誌	湘南のライフスタイルマガジン	9/26発売号にて告知、12/26発売号にてレポート
湘南タイム	雑誌	湘南のライフスタイルマガジン	10/28発売号にて紹介
FM横浜	ラジオ	神奈川ローカルメディア	10月21日19時～ SHONAN by the Sea
FM戸塚	ラジオ	神奈川ローカルメディア	10月18日20時～ INARI アースリングフレンズ
湘南ピーチFM	ラジオ	神奈川ローカルメディア	10月14日16時～ Shonan Breeze
テレビ神奈川	テレビ	神奈川ローカルメディア	10月28日TVKニュース
キッズイベント	WEB	親子向けおでかけ情報メディア	http://www.kids-event.jp/event/10837/
雛形	WEB	全国のローカルニュースを取り扱うメディア	https://www.hinagata-mag.com/27108
colocal	WEB	全国のローカルニュースを取り扱うメディア	https://colocal.jp/topics/think-japan/kamakura/20181022_118499.html
マガカル	WEB	神奈川ローカル カルチャーニュース	https://magcul.net/118890
ミレア	WEB	神奈川ローカル カルチャーニュース	http://mirea-web.jp/118890
BRISA	WEB	神奈川ローカルメディア	http://brisa.jp/topics/p901/
海と日本プロジェクト in かながわ	WEB	海と日本プロジェクトページ	https://kanagawa.uminohi.jp/report/海を感じよう%ef%bc%81「鎌倉%e3%80%80海のアカデミア」/

掲載例

『朝日新聞』10月16日朝刊（神奈川版）



- ・朝日新聞の購読者層を意識し「学び」を前面に押し出した記事。
- ・今年力を入れていたSDGsプログラムについても紹介いただいた。

紹介例

『テレビ神奈川』10月28日放映「TVKニュース」



- ・会場となった坂ノ下海岸と、光明寺、2会場の様子取材いただき、約1分半放送いただきました。
- ・プラスチックフリーの取り組みにも言及。

掲載例

『湘南スタイル』11月号「湘南エリア別忘備録」



- ・湘南に暮らす人だけでなく、湘南のライフスタイルに興味がある層へのアプローチ
- ・2月号（12月26日発売）ではイベントレポートの掲載も予定

